

蓄電池システム付きトレーラーハウスで 名古屋グランパス応援ショップを展開 豊田市駅前

豊田市中心市街地まちなか宣伝会議(議長：河木照雄)と豊田市は、豊田市つながる社会実証推進協議会(会長:豊田市長)とタイアップし、豊田市が進める「カーボンニュートラル推進」の一環として、蓄電池付きトレーラーハウスを活用した「GRAMPUS FUN! FUN! TRAILER」を、人工芝生広場(豊田市喜多町)にて実施します。

トレーラーハウスでは、2月19日(土)に豊田スタジアムでJリーグ開幕戦をむかえる名古屋グランパスの応援コーナーやオフィシャルグッズの販売を行います。

身近な名古屋グランパスを通じて、駅前のにぎわい創出を図りながら、多くの方にエネルギーや脱炭素について考える機会になればと考えています。

名称： GRAMPUS FUN! FUN! TRAILER

●名古屋グランパス応援コーナー

今シーズン注目の選手等身大パネルの展示コーナーやフラッグ寄せ書き募集もあり、ファンにはたまらないイベント間違いなし。

●選手等身大パネルとメッセージ

フォトスポットとして、今シーズン注目の選手10名程度の等身大パネルの展示

※等身大パネルの展示は日によって展示数が異なります。

●動画PR

ユニフォームのプロモーションや、選手紹介動画

●メッセージの募集

フラッグに寄せ書きを募集、ショップ終了後に試合会場に掲示予定

●名古屋グランパスオフィシャルグッズ販売

タウンユースにもおすすめのTシャツなど、試合会場で販売しているものとは異なるものを厳選して販売。

●蓄電池付きトレーラーハウスの活用(豊田市つながる社会実証推進協議会の取組)

トレーラーハウス(パークホームズ製)に、超小型BEV「C+pod」(トヨタ自動車製の【バッテリーを使った蓄電池システムを搭載し、】トレーラーハウス内の照明等の電力を【蓄電池システム】から供給することで、【車載バッテリー】の多様な活用方法を検証します。

あわせて、豊田市産のグリーン電力証書を活用し、トレーラーハウスの消費電力のCO₂フリー化をすることで、再生可能エネルギーの地産地消を推進します。

- 実施期間：令和4年2月16日（水）～3月21日（月祝）
- 定休日：毎週木曜日
- 営業時間：10時～16時
 - ※豊田スタジアムにてJリーグ試合実施日は17時まで営業
 - ※昼休憩中は閉鎖する場合があります。
- 施設ご入場之际して：
 - 密をさけるため入場制限する場合があります。
- トレーラーハウスについて
 - 全長：約6m（牽引用車両含まず）
 - 横幅：約2.4m
 - 高さ：約2.9m（車輪含まず）
 - 重量：約3.5t
 - ※寸法はすべて外寸です。
- 主催等
 - 共催：豊田市中心市街地まちなか宣伝会議、豊田市
 - 協力（順不同）：
 - 豊田市つながる社会実証推進協議会、
 - 株式会社名古屋グランパスエイト、株式会社パークホームズ



- 本件に関する問合せ:
 - GRAMPUS FUN! FUN! TRAILER（名古屋グランパス応援コーナー、グッズ販売）について
 - 豊田市中心市街地まちなか宣伝会議（事務局：一般社団法人TCCM）
 - 担当：中井久美（平日 9時～17時）
 - 電話 0565-47-7007、080-4341-7821 Mail toyota.tccm@gmail.com
 - 蓄電池付きトレーラーハウスの活用
 - 豊田市つながる社会実証推進協議会（事務局：豊田市企画政策部未来都市推進課）
 - 担当：清水智哉（平日 8時30分～17時15分）
 - 電話：0565-34-6982